

あし風通信

平成 20 年 6 月 1 日発行
04 号

応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

学びのスタンプ1周年

7 人が「ブロンズ修了証」を手に入に！

「石狩・学びのスタンプ」は、市民が講座を受けるとき、専用の手帳にスタンプを押してもらい、“学びの証し”として、スタンプが 30 個になると「ブロンズ修了証」、60 個で「シルバー修了証」、90 個で「ゴールド修了証」が貰えるしくみです。



平成 19 年 6 月にこの制度がスタートして 1 年、現在 160 人の方がスタンプ手帳を持っていますが、早くも 7 人の方が「ブロンズ修了証」を手に入れました。

3 月 27 日、市役所庁議室で、30 スタンプを獲得された 7 人への修了証授与式が行われ、田岡市長から一人ひとりに修了証が手渡され、お祝いの言葉がありました。

市長ご自身もスタンプ手帳をお持ちですが、「多忙で白いままになっているのが残念だ」とおっしゃっていました。

そのあと、修了証を手にした方々のコメントがありましたが、共通して話されたことは、「楽しんで学んでいるうちに自然にスタンプが 30 個たまっていた」ということでした。

このスタンプ手帳が“楽しみながら学ぶ”ことのお手伝いになって、こんな嬉しいことはありません。まだスタンプ手帳をお持ちでない方に、自信を持ってお勧めしていきたいと思います！



新しい時代の生涯学習に向けて

「いしかり学びをつくる会」が発足

石狩市の新しい時代の生涯学習を推進するために、6 月から新しい市民の組織である「いしかり学びをつくる会」をスタートさせることになりました。新しい会には「いしかり学のスヌメ」グループ、「学びのスタンプ」グループおよび「石狩市民カレッジ」検討グループの 3 グループをおいて活動を進めて行きます。石狩市や関係団体と協働しながら、従来から行ってきた“いしかり学のスヌメ”の企画・運営や“学びのスタンプ”の運営などを継続しつつ、市民カレッジの設立という新しい目標に向かって進んで行く予定です。新しい会の活動に暖かいご理解をいただき、共に新しい時代の生涯学習を切り開いて行こうではありませんか。

学びのスタンプデータ (6 月 1 日現在)

- 登録者～160 人
- 協力団体～60 団体
- 登録講座
(平成 19 年 6 月～平成 20 年 6 月)
～257 講座



座談会・・・「学びのスタンプを考える」

5月1日、学びのスタンプ手帳をお持ちの5人の方（渡部恵美子、大井欣悟、井下田賢、大橋修作、中川進の皆さん）にお集まりいただき、自由に語り合っていました。この紙面で全てをご紹介することは出来ませんので、お話の要点だけをまとめて掲載させていただきました。



○スタンプ手帳を持たれて一年近くたったみなさんの今のご感想は？

大 井「あい風通信で講座情報を得て、早めにスケジュールを立てられるのが良い」

渡 部「講座情報が一本化できるのは良いこと。また、スタンプ手帳を持たずにいた頃は、受けた講座のことは漠然としか思い出せなかったが、スタンプ手帳を開くと記憶もよみがえり、“私の思い出帳”になっている」

大 橋「昨秋ころから、手帳を持つ受講者の意欲の高まりが見られ、友達同士誘い合うような横のつながりが出てきた。スタンプ手帳は、自分だけのためではなく、講座を通していろんな出会いの輪も出来てくる」

中 川「講座情報が一本化されて、受けたい講座を見つけやすいし、講座を受ける中で仲間ができ、その仲間の輪でまた情報交換できるようになった」

○スタンプ制度は市民によく知られているか、また、もっと広めるには、どうしたら良いか？

渡 部「自分の受けたい講座だけで良いという人もいる。講座の始めと終わりに係が説明し、新しい加入者を募集すると共に、スタンプ手帳に押印すると良い」

大 井「この制度を紹介する公開フォーラムを開いてはどうか」

大 橋「広めるには、講座参加者の体験が他の人に伝わっていくような広がりがあると良い」

井下田「スタンプ制度はまだまだ知らない人が多い」

○スタンプ制度の問題点、提案など、ありましたらお願いします

井下田「自分の年代向きの講座が少ない、スタンプ手帳を申し込んでから手元に届くまでに時間がかかった」

渡 部「受けた講座で、主催者がスタンプへの対応が不十分で、教育委員会へ出向くように言われたことがあった」

大 井「講座開催の場に、“学びのスタンプ”の垂れ幕を掛けたらどうか」

大 井「知識、技能を持つ市民を先生として生かせないか」

○石狩の生涯学習あるいは市民大学について、どう思いますか？

井下田「部門別に講座ができると良い。また、大学の講座を通じて、仲間と同好会がつくれると良い」

渡 部「自分の属するグループ（石狩市生涯学習講座企画ボランティアの会）は、市民大学への方向付けで進んでいる。それに対して、できることがあれば、協力したい」

大 井「楽しく、遊び心のあるものが良い。また、学んで、それが形に残るようなサイクルが望ましい。

形に残って、喜び、生きがいにつながり、最終的に“まちづくり”に寄与できれば良い」

ご支援ありがとうございます

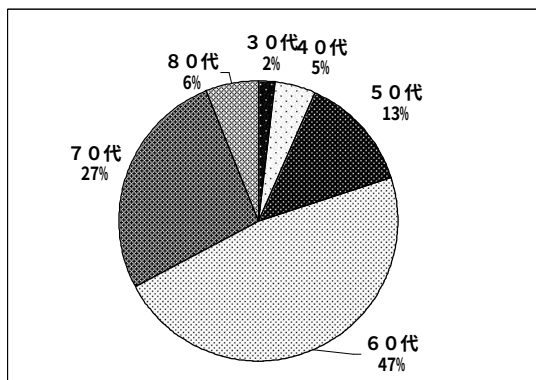


学びのスタンプ制度運営委員長 徳田 昌生

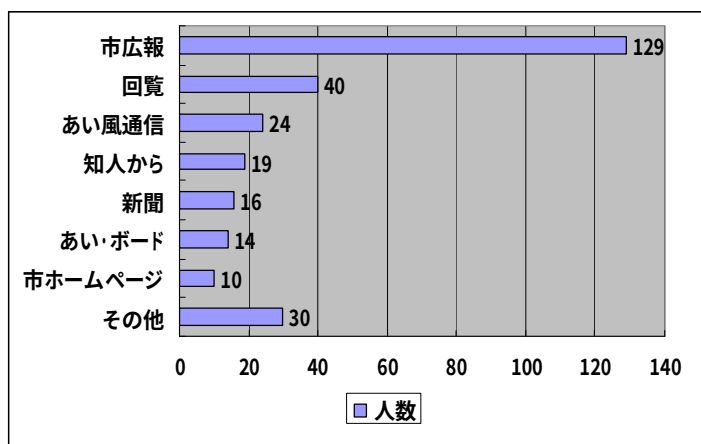
市民すべてがだれでも、どこでも、いつでも学ぶことができる生涯学習の場をつくるために、市民が主体となって「石狩学びのスタンプ」を昨年6月にスタートさせました。おかげさまで、皆さまと市教育委員会の絶大なるご支援を得ることができ、登録者は160人、協力団体数は60に達し順調に進んできました。発足1周年に当たり、皆さまに心からお礼を申し上げます。今後は本通信1頁に記載された新しい「いしかり学びをつくる会」の活動を通して、石狩により良き生涯学習をつくって行きたいと考えています。

「石狩市生涯学習講座企画ボランティアの会」が平成 19 年に行った、開催 7 講座を受講した市民に対するアンケート結果から石狩市民の学びの傾向を探ってみました。

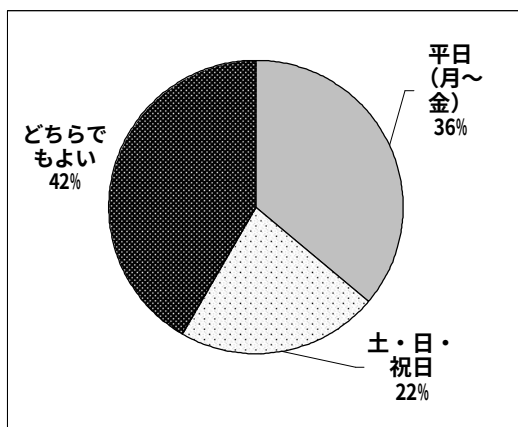
①どんな年代の方が多いか？



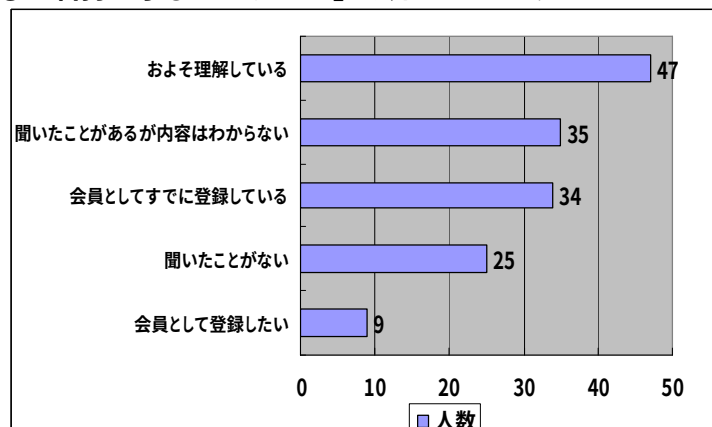
②受けたい講座をどのように見つけるか？（複数回答）



③参加しやすい曜日は？



④「石狩・学びのスタンプ」を知っていますか？



⑤どんな講座を受けたいか（複数回答）

1 歴史や地理、文化などの地域の知識	115 人
2 農業や漁業、商業施設などの産業体験	80 人
3 植物や動物、地形、気候などの自然環境	80 人
4 地球温暖化やゴミなどの環境問題	62 人
5 絵画や演劇、書道など文化や芸術的なもの	59 人
6 料理やパソコン、大工などの生活技術	58 人
7 スポーツやダンスなどの健康づくり	43 人

○以上の結果から、石狩市民の学びの傾向は、50～70歳の年代層の参加意欲が高く、講座情報を主に市広報、回覧板、あい風通信で得ており、開催曜日には特にこだわらず、希望する講座内容は多岐にわたっていることが、うかがえます。

また、60%の方が、「学びのスタンプ」のことを、ほぼ理解して頂いているようです。

学びのスタンプ 協力団体紹介 (4)

石狩消防署

救急車が現場に到着する
には、全国平均で約6
分かかります。脳が酸素
なしで生きていられる時
間は、3～4分といわれ



ており、呼吸や脈拍が止まっている傷病者を何もせず
救急隊へ引き継いだのでは仮に生命を救えたとして
も、社会生活ができるまで回復させることは困難にな
ります。石狩消防署では救急車が到着するまでのわず
かな時間に、その場に居合せた人が適切に応急手当で
きるよう、講習会を開催しております。

□日 時：毎月第3日曜日 9：00～12：00

□場 所：石狩消防署

□受講料：無料

□対 象：石狩市民（中学生以上）又は石狩市内に勤
務されている方

□申 込：事前に電話にて受付

□電 話：74-7024（石狩消防署警備課）

※受講者には「普通救命講習修了証」をお渡しします。

石狩の一冊

◆朝倉かすみ「ほかに誰がいる」幻冬舎

朝倉かすみは小樽生まれだが、15歳から24年間
石狩で暮らしたというから、石狩が育んだ作家であ
る。道新文学賞、小説現代新人賞を受賞し、辛口の
書評家豊崎由美をして「彼女は一生私を裏切らない
作品を書くだらう」と言わせた実力は高く評価され
ている。最近矢継ぎ早に新作が出て、一般の人気も
高まっている。直木賞も夢ではないだろう。

文庫化もされた作品「ほかに誰がいる」では、主
人公の隠れ家の場所として石狩が登場する。作中で
主人公に「いったことはないが、そう、聞いたこと
がある」と言わせているが、ここで暮らした朝倉に
とっては馴染みの土地だ。作品では行ったことがな
い土地と書いても、著者はよく知っている必要があ
る。それだけでなく奥行きのある表現はできない。

朝倉かすみには、全編石狩が舞台の作品も書いて
もらいたいものだ。そのためにも是非書店で彼女の
本を買って、次々に新作がでるよう応援したい。今
後が楽しみな作家だ。

石狩市民図書館副館長 丹羽秀人

スタンプ会員募集

「学びのスタンプ」は、会員の皆様
から「あい風通信で講座情報が一目で
分かる、スタンプ手帳は学びの足跡と
なりスタンプを重ねながら楽しんで学
ぶことができる」と好評です。

この機会にぜひお申込みください。
また、既にお持ちの方はご友人にもお
勧めください。

お申込・お問合せは社会教育課へ。

掲示板

学びのスタンプ窓口が、公民館に移動しました。

学びのスタンプを担当している社会教育課が、市役所から公民館に
移動しました。手帳の申込など、土日でも受付けております。
お気軽にお立ち寄りください。

編集後記

あい風通信 04号を一周年記念号としてお届けします。現在、スタンプ会員
は、160人。もっとたくさんの方にあい風通信をお届けしたい、これが、私
たちの願いです。一周年のこの機会に、ひろく市民の皆さんに呼びかけてみ
たい、そんな思いで、この記念号は、町内会回覧で全市にお配りすること
となりました。あい風通信を通して、学ぶ喜びが、全市いっばいにひろがっ
ていく、そんな夢の実現をめざしたいと思います。（Ｚ・Ｉ）

発行

いしかり学びをつくる会

【学びのスタンプグループ】

（編集担当：中川進、石井滋朗、徳田昌生）

お問合せ

石狩市教育委員会 社会教育課

石狩市花川北6条1丁目42 石狩市公民館内

TEL：0133-72-3173 FAX：0133-74-2249

E-mail：manabee@city.ishikari.hokkaido.jp